

旧初原小学校校舎

久慈郡大子町初原960

J R水郡線の常陸大子駅より北西、国道461号線の上岡三差路から県道205号線を北上し、約4キロメートルいった初原地区に「初原ほっちの学校」の看板のある廃校があります。ここが大子町立初原小学校の跡地です。



学校は、明治6年（1873）10月に初原小学校として創立し、明治23年（1890）に佐原尋常小学校初原分校、同25年に初原尋常小学校として独立しました。大正15年（1926）に再び佐原尋常小学校初原分校となりますが、昭和31年（1956）4月に大子町立初原小学校として独立しました。平成7年（1995）3月に、さはら小学校へ統合により閉校となった後は、初原地区の管理となっており、3棟の建造物が残されています。

1号棟は、木造平屋建、切妻造、鉄板葺で延床面積が369㎡あり、昭和17年（1932）に建築されたものです。片廊下式で北側に廊下を通し、南側には教室の採光等に配慮し、ガラス窓の上にガラス欄間を並べています。戦時中にもかかわらず、限られた用材で建てるための工夫がみられます。

2号棟は、木造二階建、切妻造、鉄板葺で延床面積が200㎡あり、昭和35年（1960）に建築されたものです。1号棟の西側に増築された校舎で、上下階とも教室一室からなっています。1号棟以上に教室の採光等に配慮し、改造がほとんどなく、建築当初の状態をよく残しています。

講堂は、木造平屋建、切妻造、セメント瓦葺で延床面積が103㎡あり、昭和29年（1954）に建築されたものです。2号棟の北西に渡廊下を延ばして接続しています。内部は一つの大空間で、天井を中央に向けて切り上げて高くし、屋内運動場としても使えるように工夫されています。

3棟は、平成30年（2018）5月10日に「旧初原小学校校舎」として、国の登録有形文化財（建造物）に指定されました。

茨城教育 第八七五号

令和六年六月二十日発行

編集責任者 鹿志村 則男

発行人 鹿志村 則男

発行所 一盤田茨城県教育会

水戸市見和一三五六―一

電話 〇二九―三二一―七四七

印刷所 有限会社山田軽印刷所